

農政功績者表彰受賞者の概要（農村振興分野）

県 名	氏 名	内 容
新潟県 佐渡市	かもん 掃部 としひさ 利久	<主な役歴> - 平成13年4月1日～平成25年3月31日 長江川水系土地改良区 理事 - 平成25年4月1日～令和3年3月31日 長江川水系土地改良区 理事長 <功績> - 県営経営体育成基盤整備事業「上横山地区」において、長江川水系土地改良区の理事として農業水利施設の改修及び更新の必要性を訴え、地域住民の合意形成に尽力した。また、農業水利施設新設により、地域の農業経営の安定に大きく貢献した。 - 同土地改良区の理事長に就任後、土地改良区に加入していなかった「長江地区」の圃場整備推進の為、地元や土地改良区管内各地区への説明に尽力した。また、長江地区における要望を取りまとめ、長江地区加入に伴う維持管理計画書の変更や定款・規約変更の準備にも尽力した。 - その甲斐あって、長江地区は平成30年4月1日付けで圃場整備事業採択に向けて長江川水系土地改良区に加入した。令和2年度に県営経営体育成基盤整備事業（長江地区）として採択され、受益面積37.7ha、総事業費937百万円、施工年度令和2年度～7年度として、現在実施中である。長江地区は圃場の大区画化及び耕地の汎用化を図り、労働生産性の向上を目指している。 - 地域の土地改良施設の維持管理に尽力しつつ、農家のよき相談役として、農地を守るための農地集積と農家育成にも努めた。 <主な受賞歴> - 平成26年3月 新潟県土地改良事業団体連合会表彰（土地改良功劳） - 令和5年11月 新潟県知事表彰（土地改良功劳）

農政功績者表彰受賞者の概要（農村振興分野）

県 名	氏 名	内 容
福井県 三方上中郡 若狭町	たけうち しげこ 竹内 成子	＜主な役歴＞ - 平成15年～平成18年 J A若狭 女性部長・女性理事 - 平成20年～令和 2 年 若狭町農業委員 - 平成28年～令和 2 年 福井県農業委員会女性農業委員の会 会長 - 平成22年～平成24年 上中梅生産部会長 - 令和 4 年～令和 6 年 // - 令和 5 年～ 上中園芸生産部会長 - 平成31年～令和 2 年 若狭地区農業士会 会長 - 平成31年～ 福井県土地改良事業団体連合会 理事 ＜経営概況（令和 5 年）＞ 経営面積 70a （内訳）梅 150本、一寸そらまめ 8a、露地野菜 32a ＜功績＞ （１）若手就農者の農村への移住・定住支援 新規就農者の育成に力を注ぎ、地域外から海士坂(あまさか)集落内への移住者に対して移住及び就農の支援を行い、平成17年から現在までに、3組の夫婦（家族）と1名が海士坂集落内に移住している。そのうち、3組の家族が地域農業の担い手の要として活躍している。 （２）地域農業の維持・活性化 - 平成24年より海士坂集落の耕作放棄地の再生・利活用のためグループを立ち上げ、耕作放棄地の再生・利活用に取り組んでいる。 - 集落に田植え、稲刈り、収穫祭、しめ縄作り等昔ながらの農村の暮らしをベースとした伝統行事の伝承を提案し、非農家も含めた住民を巻き込み実施するなど、集落機能の維持・活性化に努めている。 - 若狭町上中地区の梅生産部会長を務め、地域の特産品の振興に尽力している。 - 平成17年福井県指導農業士に認定。平成31年、令和 2 年の 2 か年間、若狭地区農業士会会長を務め、若手農業者との交流や、女性農業者の交流の場を作るなど、地域農業の活性化に貢献している。 - 現在、就農50年目になるが現在も精力的に活動を行っており、若狭地区を代表する農家として農業に対する前向きな姿勢が、海士坂集落にとどまらず、若狭地区全体へ良い影響を与えている。 ＜主な受賞歴＞ - 平成25年 北陸農政局男女共同参画優良事例表彰 - 令和 5 年 若狭町功労者表彰（産業・スポーツ振興功労）

農政功績者表彰受賞者の概要（6次産業化・食品産業分野）

県 名	氏 名	内 容
福井県 勝山市	まつもと 松本 ただし 忠司	<主な役歴> ・平成17年6月～令和3年6月 福井県家畜改良協会 会長 ・平成22年～ 地域交流牧場全国連絡会 代議員 <経営概況（令和5年）> 経営規模 乳牛 23頭（ジャージー種、育成牛含む） 放牧・採草地 10ha 採卵鶏 120羽 水稻 56.6a 直売所 2店舗 加工所 1か所 労働力 家族労働2名、常勤雇用3名、アルバイト14名 <功績> （1）農林水産物等の地域資源の有効活用 ・昭和60年代、福井県内では自ら加工・販売を行う酪農家はいなかったが、生産した牛乳の付加価値販売に取り組み、成功を収めた。 ・収益と雇用のバランスを取りながら、商品のラインナップを広げ、福井県観光連盟の優良観光土産品ベストセレクションを2度受賞した。 （2）農山漁村における6次産業化による農家の所得向上や雇用の確保等 ・過疎化が進む地域で開牧当時からこれまでに100人以上の従業員や研修生を受け入れ、後継者育成に尽力している。 ・福井県における畜産の6次産業化のパイオニアとして道を切り開き、多くの畜産農家が6次産業化に踏み出すきっかけとなった。 （3）その他特徴的な取り組み ・安全安心な食品の生産に情熱を注ぎ、農薬不使用による水稻栽培も手掛けている。平成19年の蔵前検査ではS等級（当時）を獲得した。 ・酪農教育ファームの認証を受けており、地元の学校や保育園の体験学習や一般向けの牧場体験も受け入れている。 <主な受賞歴> ・平成9年 全国農業経営コンクール（毎日新聞社）畜産部門 農林水産大臣賞